

ISHIKAWA Kumiko

石河 久美子 イシカワ クミコ

教授

社会福祉学修士（ハワイ大学）

早稲田大学第一文学部卒業(1979), ハワイ大学大学院社会福祉学部修士課程修了(1985), 米国児童家族サービスセンターソーシャルワーカー(1985~1987), 日本国際社会事業団ソーシャルワーカー(1987~1994), 東京福祉商経専門学校非常勤講師(1994~1997), 横浜国際福祉専門学校非常勤講師(1996~1997), 日本福祉大学赴任(1997), 米国ワシントン州立大学客員研究員(2004~2005).

#### 【研究分野】

社会福祉学.

#### 【キーワード】

社会福祉方法論, 国際社会福祉, 多文化ソーシャルワーク, 多文化ソーシャルワーカー.

#### 【担当授業科目】

学 部: ソーシャルワーク論Ⅱ, 外国籍住民支援,  
社会福祉学専門演習Ⅰ, Ⅱ.

#### 【主な研究テーマ】

##### 1. 社会福祉方法論における課題

社会福祉専門職者養成のための効果的かつ実践に即したソーシャルワーク教育プログラムを建設的, 科学的に探る. 具体的には, 諸外国のソーシャルワーク教育との比較検討を行い, 日本の土壌に適用できる部分を取り入れていく試み, ソーシャルワーク教育プログラムの効果測定を行うなどの実証的研究があげられる.

##### 2. 国際福祉, 多文化ソーシャルワークにおける課題

在日外国人の増加に伴い, 異なる文化的背景を持つクライアントを対象とする多文化ソーシャルワークの方法を探索する. また, 学生及び現場職員を対象とした多文化のクライアントへの効果的対応を目的とした多文化ソーシャルワーカー養成カリキュラムの開発を行う.

#### 【主な研究業績】

##### <著書>

- 『異文化間ソーシャルワーカー多文化共生社会をめざす新しい社会福祉実践』, 単著, 川島書店, 2003. 03.
- 『多文化共生政策へのアプローチ』共著, 「多文化ソーシャルワーカー養成の現状と課題」 pp. 181-192, 明石書店, 2011. 02.
- 『移民政策へのアプローチ-ライフサイクルと多文化共生』共著, 「愛知県の多文化ソーシャルワーカー養成講座」 pp. 172-173, 明石書店, 2009. 07.
- 『エンサイクロペディア社会福祉』, 共著, 「国内の外国人への支援」 pp. 1280-1283, 中央法規出版, 2007. 12.
- 『社会福祉援助技術論-基本と事例-』, 共著, 「社会福祉援助技術における近年の動向と援助者のあり方」 pp. 160-174, 学文社, 2005. 04.
- 『新しいソーシャルワーク入門-ジェンダー人権・グローバル化-』, 共著, 「国際福祉」 pp. 197-206, 学陽書房, 2001. 05.
- 『心の障害と精神保健福祉』, 共著, 「異文化適応とソーシャルワーク」 pp. 183-194, ミネルヴァ書房, 2000. 01.

##### <論文>

- 「多文化ソーシャルワーカーの必要性-求められる在住外国人支援の充実化」, 『社会福祉研究』第105号, 単著, 鉄道弘済会, 2009. 07, pp. 2-9.
- 「ソーシャルワーク教育におけるカルチュラル・コンピテンス-教育機関と地域の現状から」, 『こころと文化』Vol. 7 No. 1, 単著, 多文化間精神医学会, 2008. 09, pp. 135-142.

- 「多文化ソーシャルワーカーの育成-アメリカの取り組みからの応用課題の検討-」, 『日本福祉大学社会福祉論集』第118号, 単著, 日本福祉大学社会福祉学部・日本福祉大学福祉社会開発研究所, 2008. 03, pp. 1-17.
- 「異文化間ソーシャルワーカー-こころと地域コミュニティー」, 『こころと文化』Vol. 5 No. 1, 単著, 多文化間精神医学会, 2006. 02, pp. 29-34.
- “Multicultural Social Work in Japan: The Need for Development”, Japanese Journals of Social Services No. 3, 単著, Japanese Society for the Study of Social Welfare, 2003. 09, pp. 149-162.
- 「滞日外国人支援プログラムの開発に向けて-飯田市の事例から」, 『日本福祉大学社会福祉論集』第107号, 単著, 日本福祉大学社会福祉学部・日本福祉大学福祉社会開発研究所, 2002. 08, pp. 1-17.
- 「実習教育とソーシャルワークの専門性-アメリカの実習教育から何を応用するか」, 『ソーシャルワーク研究』Vol. 25 No. 1, 単著, 相川書房, 1999. 04, pp. 54-61.

##### <学会発表>

- 多文化ソーシャルワーク-理論と実践の発展に向けて, 日本社会福祉学会(第57回全国大会), 2009. 10.
- 外国人支援に対する人材育成の必要性-多文化ソーシャルワーカーを巡る課題-, 日本社会福祉学会中部部会, 2009. 05.
- 愛知県多文化ソーシャルワーカー養成講座, 移民政策学会, 2008. 12.
- 日本における異文化間ソーシャルワーク-開発の必要性, 多文化間精神医学会, 世界文化精神医学会合同学術大会, 2007. 04.
- 人-環境のソーシャルワーク実践モデルについての理論とアセスメントならびに介入の方法, 第48回日本社会福祉学会, 2000. 11.
- フィリピン人移住女性の体験-日米の国際比較, 米国社会福祉学修士プログラム, 学科長会議, 1999. 11.
- 抱合の必要性-日本人と結婚したフィリピン人女性の場合, 国際ソーシャルワーカー協会及び国際社会事業学校連盟アジア太平洋地域会議, 1999. 09.

##### 【所属学会】

日本社会福祉学会(1994~), 日本ソーシャルワーク学会(1995~), 日本地域福祉学会(1998~), 多文化間精神医学会(2006~).

##### 【社会における活動と仕事】

愛知県国際交流協会 愛知県多文化ソーシャルワーカーアドバイザー(2007~).

##### 【受賞学術賞】

- 社会福祉実践理論学会学術奨励賞『異文化間ソーシャルワーカー多文化共生社会をめざす新しい社会福祉実践』, 2004. 06.